

放送日 平成29年6月13日(火)

担当者 市長 上野 正三

おはようございます。市長の上野正三です。

5月7日の新庁舎の開庁式・お披露目会、そして先週末、オープニングセレモニーが行われた、子育て支援センター「あいあい」の移転をもって、新庁舎への引越は、全て完了いたしました。

いま、職員の皆さんは新しい庁舎で、新鮮な気持ちで仕事に取り組んでいる事と思います。

新庁舎には見学の方も含め、多くの方々が来庁されます。

窓口や出入口などの配置も大きく変わり、新庁舎に戸惑うお客様もいらっしゃるかと思いますので、今まで以上に丁寧な対応をお願いいたします。

さて、本市は現在、子育て環境の充実、交流人口や定住人口の増加、地域経済の活性化など、地方創生の実現に向けて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種施策を進めています。

定住人口の増加に向け、「ファーストマイホーム支援」や「シティセールス」などを引き続き実施するとともに、市内の特産品やゴルフ場のプレー券などを商品として用意した、ふるさと納税の返礼品制度も開始いたしました。

この他、私立認可保育所の定員増加や 認定子ども園の開設により、保育定員を拡大するとともに、保育料の見直し、西の里第三学童クラブの新設、学童クラブの通所対象児童を小学校6年生にするなど、子育て支援の充実に取り組んでおります。

また、今年は、明治17年に広島県人25戸、103人により、開拓の鋤が下されてから、133年目を迎えます。

多くの先人たちが原始の森に果敢に挑み、開拓の鋤をふるい、度重なる冷害や水害、また、厳しい冬の寒さなど、幾多の試練や困難に耐えて、今日の北広島市の発展の礎を築いてこられました。

我々は、先人たちの偉業に改めて感謝と敬意を表し、その意志を受け継ぎ、北広島市を着実に前進させなければなりません。

そのためにも、市職員の皆さんの「やる気」と、市民の目線に立った行政サービス・市民サービスが必要です。

皆さんの活躍、そして建設的な意見・提案を期待しています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月14日(水)

担当者 副市長 道塚 美彦

おはようございます。副市長の道塚です。

新庁舎への移転も、6月10日の地域子育て支援センター「あいあい」のオープンにより、全てが終了しました。

市民の方々をはじめ、職員の皆さんも新庁舎のオープンを待ち望んでいたのではないかと思います。職員の皆さんには、この新庁舎で北広島市の新たな歴史を作っていたきたいと心から思います。

昨年、北広島市は市制施行20周年の節目の年を迎えました。平成8年の市制施行当時、市としての都市基盤が整備されていなかったことから、芸術文化ホールや図書館、エルフィンパーク、夢プラザなどの公共施設を順次整備し、今回の新庁舎や保健センターの整備に至ったところであります。また、一方で北広島市は、札幌市のベッドタウンとしてのイメージが強い状況でありましたが、現在、多くの企業が進出をし、年間商品販売額が約1,900億円、年間製造品出荷額も約850億円と、20年をかけて道内主要都市と肩を並べるまでになりました。皆さんの力によって、さらなる北広島市の発展を願うところであります。

さて、先日、「子ども夢チャレンジ」の2次選考会の審査員として出席しました。この「子ども夢チャレンジ」は、一人50万円を上限として市が費用を負担し、市と市民、そして賛同者の協力を頂き、子ども達の夢を実現させるというものです。昨年度は、イタリアへの1か月間のバレエ留学や、沖縄での1週間にわたるプロによるゴルフ合宿、そしてコーヒーの淹れ方や喫茶店の経営ノウハウを学ぶバリスタ実習の夢をそれぞれ子ども達に実現してもらいました。今年度は、小・中学生60名の応募があり、書類審査の結果、10名の子ども達に2次選考会でそれぞれの思いを発表してもらいました。勇気を振り絞って応募した子供や、さらなる飛躍を願い応募した子供、そして将来を見据えて応募した子供など、どの子ども達にも、素晴らしい夢と未来があることを確信したところであります。応募してくれた60名の子ども達に感謝するとともに、さらなる大きな夢に向かって進んでもらいたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月15日(木)

担当者 教育長 吉田 孝志

皆さんおはようございます。教育長の吉田孝志です。

新庁舎が完成し、教育委員会も皆さんと同じ庁舎に入ることができました。市民生活向上のために、まちづくりのために、ともに働けることを大変うれしく思っています。また、未来の担い手となる子どもたちの育成や生涯学習社会の実現に取り組む教育行政に対しましても、これまで以上に関心を寄せていただくとともに、様々な分野、多様な視点からのお力添えをお願いいたします。

とりわけ、子どもたちには、社会の変化を前向きに受け止め、よりよい社会と幸福を自ら創り出していく力を身に付けさせたいと思っています。また、ふるさと北広島に愛情をもち、自他を尊重し、互いに支え合いながら、たくましく生きていく力も育んでいきたいと思えます。

そうした使命を果たすべく、学校・家庭・地域・行政が緊密な連携を図り、確かな学力や豊かな心、健やかな体をバランスよく育成すること、そして、その基盤となる教育環境の一層の充実を図ることが重要であると考えています。

平成30年度から全市一斉に、中学校区ごとに展開を図る「小中一貫教育」は、まさに、より質の高い教育を保証し、信頼される学校づくりを進める主要な教育手法であり、そのツールでもあると考えています。

私は、4月の新年度を迎えるに当たり、教育委員会事務局職員及び学校の先生方に、「一粒万倍」というお話をしました。それは、「『小中一貫教育』という一粒の種を植えました。それぞれの立場で、水を遣り、手しおにかけて花を咲かせてほしい。そして数年後には、子どもたちの成長した姿で万倍の収穫を得ましょう。」という意味合いです。「まちづくりは人づくり」と言います。どうぞ、皆さんのお力もお貸しください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員の皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月16日(金)  
担当者 企画財政部長 川村 裕樹

おはようございます。企画財政部長の川村裕樹です。

朝のスピーチも2年目を迎えました。私は、平成元年に当時の広島町役場に入り、29年目となります。生活環境課を皮切りに、税務課、庶務課、財政課、総合計画課、政策調整課と歩んできました。現在の企画財政部は、スタッフ時代から通算するとかれこれ14年となりますが、平成29年度の企画財政部展開方針として、スタッフ全員で共有していることを紹介します。まずは、企画財政部の役割と使命をしっかりと認識すること、忙しい中でもあるべき姿はきちんと押さえておくこと、課内での情報共有をしっかりと行うため、課内ミーティングを最低月一回行うこと、朝のスタートを大切にするため、課長をリーダーとしてその日の業務確認などスタッフ全員で朝礼ミーティングを行うこと、最後に机の上など整理整頓をしっかりと行い、市職員としての自覚を高め、市章をつけることもお願いしました。

私は、どんな業務においても準備、段取りに尽きると考えており、そのためにも、いつまでに、どこまで、どの程度、誰と等、これらをしっかりと描けていないとビジョンがないまま作業に追われ、結局は自分自身の仕事の達成感にもつながらず、組織としても成長は見込めないと思っています。とは言え、様々なステークホルダーが存在する中、うまく事が運ばないことの方が多いと思いますが、近ごろはまちづくりの課題が部局をまたぐことが多い中、出来る・出来ないではなく、あるべき姿はなんなのか、これを基本に庁内連携を大切にしていきたいと思っています。庁舎が一つとなりました。市民の皆様の利便性の向上とともに、我々職員も普段は会うことが少なかった職員とすれ違うことが多くなりました。職員同士のあいさつも活気ある職場形成に重要だと感じています。

私自身、態度、振る舞いを大切に日々業務にあたっていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月19日(月)

担当者 総務部長 福島 政則

おはようございます。総務部長の福島政則です。

まず初めに、新庁舎への移転につきましては、5月に3週にわたる引っ越しを行い、6月8日に地域子育て支援センターの引っ越しを終え、無事、移転を終了することができました。職員の皆さん大変お疲れ様でした。

また、5月7日には、開庁式、お披露目会、市民内覧会、6月10日には地域子育て支援センターオープニングセレモニーがあり、小さいお子さんから高齢の方まで沢山の来庁者の方がいらっしゃいました。そして、現在、新庁舎の見学会を実施していることもあり、引き続き、多くの来庁者の方がいらっしゃっております。

そういうこともあり、本日は、接客の話をさせていただきます。

市では、接客姿勢について、「あいさつ・声かけ・礼儀を大切にし、来庁者が話しやすい雰囲気づくりに心がけるとともに、気配りを持って対応すること。」としております。

挨拶、声かけは、接客の基本です。職員の皆さんには、来庁者の方への挨拶はもとより、フロア案内図を見ている方、迷っている方などを見かけましたら、積極的な声掛けをお願いします。そして、目的の窓口がわかりづらい場合は、窓口への案内をお願いします。

結びになりますが、私自身、このようなすばらしい庁舎で仕事ができることに感謝し、庁舎に負けないように、接客対応もすばらしいと言ってもらえるよう、気持ちの良い挨拶から実践していきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月20日(火)  
担当者 市民環境部長 高橋 直樹

おはようございます。今年度より市民環境部長を勤めさせていただいております高橋です。

私の所属する市民環境部は、市民課、環境課、出先機関として西部、大曲、西の里の各出張所、北広島団地住民センター連絡所、エルフィンパーク市民サービスコーナー、広葉交流センターを所管しており、部の名称にもありますとおり市民と接する機会の多い部署です。

私自身は、4月の春の交通安全運動の街頭啓発から始まり、これまでに交通安全協会、防犯協会、暴力追放運動推進協議会、自治連合会、平和の灯を守る市民の会などの関係団体の総会や街頭啓発などに参加させていただき、多くの市民と接することができました。

今日は、その中で、特に印象深いお話を聞かせて頂きましたので、ご紹介させていただきたいと思います。

今年、開催されました総会が62回目となります北広島市東交通安全協会は、昭和30年に設立し、交通安全運動に取り組まれている団体です。協会が、設立した昭和30年当時は、広島村でしたが、人口は約7,700人、車両台数は数台で数える程しかなく、道路も今のように舗装された環境ではなかったと思います。今では、人口は約6万人、車両台数は一人0.5台となりましたが、そのような時代から交通安全の大切さを多くの方々に伝え、今日まで62年間も、途絶えることなく、交通安全運動に取り組まれています。

このお話を聞いて、私は、このような歴史のある取組を未来につなげ、また、今後もこのような活動を支援し、市民の皆さんにとって住みやすい安全で安心なまちづくりを進めていきたいと改めて思いました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。



放送日 平成29年6月21日(水)  
担当者 保健福祉部長 中屋 直

皆さん、おはようございます。保健福祉部長の中屋です。

昨年はバス通勤についてスピーチをさせていただきましたが、今回は少し昔の話をさせていただきます。

私は、昭和55年採用組で、今年で38年目になります。

同期は20数名おりましたが、今ではもう半分以下になってしまいました。

私が初めて配属されたのは、農政課でありました。毎年、この季節になると、豚コレラの予防注射や牛の結核ブルセラ、馬の伝貧検査など、家畜と戯れて仕事をしている頃が懐かしく思い出されます。

当時の農政課では、まだ米の減反政策により転作奨励金の制度が残っており、毎年2回、春と秋に市内の転作田を見て回っていました。

また、当時あった森林組合の山越さんと一緒に仁別や三島の山へもよく行ったものでした。これらの仕事を通じて市内を隈なく回ることができたことは、北広島にまったく地理勘、土地勘がなかった自分には、その後の仕事をしていく上で大変に貴重な経験となりました。今も地番を言われるよりは、皆さんの家の前の道路と言われた方が、すぐに現地をイメージすることができ、これは緊急時にも役立つものだと思います。

今、市役所は職員の世代交代が急速に進んでいます。保健福祉部でも1/3が20代の若手職員です。長く市役所職員として勤めていく中で、これから多くの部署を回るようになります。特に事務屋は、在庁での勤務が多いと思いますが、「道を知ることが広くまちを知る第一歩」だと、私は思っています。たまに休日でも、普段行くことのない市内をぐるっとドライブしてみてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月22日(木)

担当者 建設部長 駒形 智

みなさんおはようございます。建設部長を勤めさせていただいております駒形です。

それでは、私の朝のスピーチを始めさせていただきます。私たち建設部は、庶務課、都市整備課、建築課、土木事務所の4つの部署で構成されており、国や北海道が本市において実施する建設事業に係る連絡調整などの業務や市民の皆様の日々の生活を支える道路や橋梁、公園、市営住宅など、市内の社会基盤の整備やそれら施設の維持管理に職員が一丸となって勤めているところであります。

ところでみなさんは、日頃「自分はこんなことをしてみたい」といった目標や夢を何か持っていらっしゃるでしょうか？私は10年位前から、1週間から10日に一度10kmのランニングを健康維持のために続けています。そんなことをして、2年くらい前から「苫小牧市まで歩いて行って漁港の傍にある食堂でホッキカレーと海鮮丼を食べて、帰りはJRに乗って帰ってくる」というなんとも言えない突飛な目標を持つようになりました。しかし、1人で行くのは心細く身近な人たちに声をかけてみたのですが、「無謀だ」と言われ共感してくれる人が現れず、半ばあきらめていました。しかし、この春、たまたま職場でこの話をしたところ、50歳を過ぎた2の方が私の目標に賛同してくれました。ここに「50を過ぎた男たちの無謀な挑戦」が幕を開けたのであります。決行日は先週、6月16日金曜、目的の漁港近くの食堂の開店が早朝6時とのことから、午後7時に新富町西1丁目の道道前を3人で出発、出発から40分ほどで恵庭市に入り、恵庭市を2時間、千歳市を3時間余りで順調に通過したのですが、千歳市を過ぎたあたりから、徐々に50代の男たちの体力は消耗し疲労の頂点が近づいていったのであります。苫小牧市ウトナイに着いたのは、翌17日の夜明け前の早朝3時、北広島から38kmの距離でした。ここまで3人で励まし合いながら歩いてきましたが、各自の足腰は悲鳴を上げ、歩くことが辛く、1人が危うくりタイアしそうになりましたが、最後は、足腰に走る地獄の痛みには堪えながら意地の塊となって目標であった漁港の傍の食堂に6時20分に到着、北広島を出発して、なんと11時間20分、50kmの道のりを完歩して、ホッキカレーや海の幸を堪能し、3人で目標達成の充実感に浸りながら、電車に乗って無事北広島に帰ってくることができました。

この無謀な挑戦と一緒に参加してくれた2人には感謝の気持ちで一杯です。そして、最後まであきらめずに頑張れば夢は実現するということを58歳という年齢になって経験することができたことに喜びを感じた次第であります。職員の皆さんも仕事はもちろんですが、私生活においても何か目標をもって取り組んでいただき達成感や充実感を是非、味わっていただきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。



放送日 平成29年6月23日(金)

担当者 経済部長 藤木 幹久

おはようございます。経済部長の藤木です。

新庁舎での業務が始まりました。これまで分散していた庁舎がまとまったことで、市民の皆様が利用しやすく、便利になったことは勿論ですが、多くの職員の方々と顔を合わせることが多くなったと感じています。そのようなこともあり、挨拶する機会が増えました。昨年の朝のスピーチでは、挨拶の大切さを、日々自分の中で意識しながら、行動し、取り組み始めていることを、お話をさせていただきました。この取組は、勿論、今も継続中ではありますが、正直言って、なかなかうまくできないことを実感しています。今回のスピーチでも、「挨拶」について、今、思っている一部を取り上げさせていただきます。

「挨拶」の頭の4文字、「あいさつ」の「あ」明るく、「い」はいつも、「さ」は先に、「つ」は続ける、この4つは挨拶の基本として、覚えやすい頭文字でポイントを表しています。この基本的なことを心がけ、引き続き取り組んでいきたいと、挨拶の機会が増え、新しくなった環境の中で、改めて思っているところであります。

もう一つ、挨拶に関して伺った、お話を紹介させていただきます。その話は、ある組織で士気が上がらないため、コンサルタントに知恵を求めたそうです。現場を観察した後の提案は、極めて単純なものでしたが、効果は絶大でした。それによって、皆の表情に生気がよみがえり、動きもキビキビとして士気も格段に上がったということです。その提案とは、「今より3倍大きな声で、しっかりと挨拶を交わすこと」。半信半疑で始めたところ、皆の表情と姿勢に変化が起こり、人間関係も強固になったそうです。豊かな人間関係・組織を築く上で「気持ちの良い挨拶や笑顔」は、欠かすことの出来ない潤滑油であると言っています。

この話の中での、「気持ちの良い挨拶と笑顔」という聞き慣れたフレーズは、毎朝のスピーチの結びの言葉になっています。この毎朝聞く、結びのフレーズにあるもの、私たちが、これからもずっと、大切にしていかなければならないことを、改めて気付かされてもらっています。このフレーズの考案者は、素晴らしいと思っています。それでは、結びの言葉です。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月26日(月)

担当者 水道部長 藤嶋 亮典

おはようございます。水道部長の藤嶋です。

本日は、私が常日頃より、感じていることを二つ話します。

まず、一つ目、乗客106名が死亡した福知山線脱線事故で、JR西日本の歴代3社長の無罪判決が今月20日に確定しました。私は、カーブを曲がりきれずにマンションへ激突した悲惨な列車事故を回想しながら、負傷者に治療の優先順位を決めたトリアージを思い出しました。早期に処置が必要な人は黄色いタグ、救命の可能性がある人は赤いタグ、救命不可能な人は黒いタグを、切羽詰まった時間の中で、現場の担当医師が瞬時に判断し命の選別をしたあのトリアージです。医療現場と自治体職員の仕事とは、次元の違う話とは思いますが、有限な資源を適切に配分して目標を達成するという点では同じであると私は考えます。有限な資源の中で、あれもこれも全てやりたいでは、結果的に全て中途半端になります。私は、全ての問題・課題に優先順位を決定し、成果物を意識しながら的を絞って仮説検証し、期限内に完成しなければ、グッドジョブではないと考えます。

二つ目、医療現場では、毎日、定期的に患者情報の申し送りをしています。これは、数学的に円を書いたベン図的な共通認識ではなく、仕事を安全に効率的に進めるために、何が共通の情報で、何が自分だけの情報か、あるいはお互いの間で食い違っている情報は何かを、色違いのブロックを積むように全体を俯瞰し、その上で必要な情報を積むことだと私は考えます。情報は、集めて組み合わせで連結しなければ「組織の知」になりません。組織の中で、経験や行動を通さなければ、身体知になりません。単なる情報収集は時間と労力の無駄です。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月27日(火)  
担当者 会計室長 佐々木 伸

おはようございます。会計室長の佐々木です。

私は、会計室長に加えて会計管理者の辞令もいただいております。その役割は、市が公金を支払う場合に、その契約方法や内容について法律や規則に違反していないか、また、予算の内容と異なっていないかなどを十分に審査し、誤りなどを確認して支出するというものです。間違いの許されない責任の重い業務です。と言っても実際の実務はスタッフの皆さんが日々一生懸命チェックにあたってくれています。時には、各課の経理担当者に対して厳しい発言を強いられる場面もありますので、気持ちよく仕事できる職場の雰囲気作りも私の役割と考え、笑顔と声掛けを大切にしています。

さて、今年は、新人職員の皆さんも朝のスピーチに参加ということですので、これからスピーチする皆さんに良いアドバイスになるか分かりませんが、勤続34年目のおじさんの経験を少しお話しさせていただきます。今まで様々な部署を経験させていただきましたが、どの部署においても言えることは、この辺でいいたろうと手を抜くと、巡り巡って必ず自分に返ってきて痛い目に遭いました。逆にしっかり目的を設定して、こつこつと種まきをした業務は、時間はかかっても色々な形で花を咲かせる時がやって来ます。

皆さんは、長い市役所人生のスタートラインに立ったわけですが、大概の事は何とかできますので、失敗を恐れず「ボーイズビーアンビシャス」です。そして、支え支えられる仲間を沢山作って、北広島市のまちづくりを担う戦力となり、強い組織を作っていたきたいと思います。

また、仕事のことを忘れて心身ともにリフレッシュする時間を持つことも、メンタルヘルス的にはとても大切なことです。私の場合は、海で潮風に吹かれながら釣り糸を垂れています。大自然の中で五感を研ぎ澄まして獲物を狙うという行為は、デジタル情報化社会の中で失われがちな、ホモサピエンス本来の姿を取り戻す瞬間がそこにはあります。何より、食べて美味しいご褒美がついてきます。自分で釣った魚を食べてみたいという方は、遠慮なく新庁舎2階総合案内隣の会計課までお越しください。優しく手ほどきいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月28日(水)  
担当者 議会事務局長 仲野 邦廣

おはようございます。議会事務局長の仲野です。

今日は、日頃仕事をしていく上で大切だということをお話したいと思います。皆さんには、もう既に当たり前のことになっていると思いますが、これを機会に今一度振り返ってみてください。

地方公務員法第32条では、職員はその職務を遂行するに当たって、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規定に従わなければならないとされています。公務員は、このことを基本として仕事をしており、逸脱することはできないことを理解し、前例踏襲にとらわれることなく仕事を進めていくこと。上司に言われたことだけではなく、自分で考え行動する力を養うこと。分からないことがあれば、納得のできるまで自分で調べること。上司や同僚には、普段からこまめに報告し、情報共有を図り、必要があれば必ず相談すること。

何事においても、相手は分かっているだろうではなく、必ず確認すること。迅速性、透明性、説明責任、コスト意識を持って仕事を行うこと。接遇では、挨拶はもちろんのこと、相手との意思の疎通を図り、相手の立場に立って、相手の気持ちを考えて行動すること。自分の知っている範囲の外側にまだまだ知らないことがたくさんあることを忘れずに、素直に知らないことを認めて、仕事や人の話から学んでいくことなど、以上が私の公務員生活で大切だと感じ、実践を心がけてきたことです。

皆さんはいかがでしょうか、これ以外にも大切にしていることがあるかも知れません。今後も初心を忘れずに、常に向上心を持ち日々勉強を重ね市民のために行動していきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年6月29日(木)  
担当者 監査委員事務局長 川合 隆典

おはようございます。監査委員事務局長の川合です。

私は、今年の3月まで、一部事務組合である道央廃棄物処理組合に3年間派遣されてきました。

この組合は、北広島市、千歳市、南幌町、由仁町、長沼町及び栗山町の2市4町で組織されていますので、北広島市以外の役所・役場に頻繁に行っていました。その中で、北広島市に戻ってきて、感じたことを紹介させていただきます。

まず最初に、感じたことは、市役所の雰囲気、若い職員が多く活気があるということです。今から10年ほど前は、職員の年齢構成が中高年の職員が多く、20代~30代前半の職員が少ない逆ピラミッド型で、重たい雰囲気があったと思います。しかし、今は、庁舎も新しくなり、職場全体が明るくなっていると感じています。北広島市全体では、高齢化が進んで、様々な施策が図られていますが、庁舎内に限っては、若返りが図られているようです。

ただ、若い職員が多くなった分、中堅やベテラン職員がフォローしていくことが大切です。

次に、来庁されるお客様に対する職員の対応についてですが、「声かけ」がよくされていると感じました。このことは、他市町と比べても大変誇れるものであると思います。これからも、市民のみなさんから「庁舎も新しくなって素晴らしくなったが、職員の対応はもっと素晴らしい」と言ってもらえるように、私自身が改めて徹底するように心掛けたいと思っています。

そして、最期の結びの言葉につながりますが、何よりも笑顔を大切にしていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。



放送日 平成29年6月30日(金)

担当者 教育部長 水口 真

おはようございます。教育部長の水口真です。

25日曜日に「きたひろしま 30 kmロードレース 2017」が開催されました。雨が時折激しく降り、気温も13と上がらない中、多くのボランティアの支えにより、1,065名の完走と事故のない大会運営をすることができました。多くの職員の皆さんにも応援をいただき、本当にありがとうございました。

私もボランティアで参加の北広島西高校ボランティア部・剣道部・陸上部、札幌日大高校ボランティア部・青少年赤十字部・陸上部の学生さんたちと一緒に、ゴール周辺班を担当しました。完走タイムを計るランナースチップを回収する担当、ドリンクを配付する担当、完走賞を配付する担当、記録証を配付する担当に分かれた学生さんたちは、初めのうちは遠慮気味だった声掛けも、沢山の完走者を迎えるうちに大きな手振り笑顔のある声掛けへと変わっていきました。特に大変だったのは、靴紐に2本のビニールタイで装着された計測チップを手作業で回収する学生さんでした。参加者の中には、雨の中、記録が思うように伸びなかった悔しさからか、疲れからか、ぎっちりねじ上げられたビニールタイからのチップ回収に手間取る学生へ、普通はハサミで切るのにと不満をぶつける方もいました。学生はすいません、お疲れ様でしたと言いながら回収を終わらせていました。自発的な自分の意志を持ったボランティア活動を行う学生の姿がとても頼もしく、そんな彼らと一緒に時間を過ごしたことで、気持ちの良い一日となりました。

今年度、教育部は部局運営方針において、基本方針の一つに、夢と希望にあふれ、発展を続ける市の職員として、共に働ける喜びを共有し、まちづくりに貢献する教育行政を推進すると掲げました。主な取り組みとしましては、小中一貫教育の推進、学校給食のあり方の検討、公民館のあり方の検討などを精力的に実施してまいります。子供たちが、そして地域の皆さんが安心して、教育を受け、生活ができるよう、早めの事務事業着手を心がけてまいります。個人的な心構えとしましては、地域でも職場でも挨拶や言葉をかけやすい大人・管理職でありたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

2017年6月30日、本日も1日、元気に頑張りましょう。